



2021年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年6月4日

上場会社名 日本駐車場開発株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2353 URL http://www.n-p-d.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 巽 一久
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長(氏名) 渥美 謙介 (TEL) 03-3218-1904
 四半期報告書提出予定日 2021年6月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第3四半期の連結業績(2020年8月1日~2021年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第3四半期	18,300	△2.1	2,693	△8.2	2,808	△4.1	1,812	16.1
2020年7月期第3四半期	18,693	△1.8	2,933	△17.8	2,928	△18.1	1,560	△31.6

(注) 包括利益 2021年7月期第3四半期 1,920百万円(6.8%) 2020年7月期第3四半期 1,798百万円(△30.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第3四半期	5.51	5.51
2020年7月期第3四半期	4.71	4.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年7月期第3四半期	27,744	10,273	28.3
2020年7月期	30,604	11,053	27.4

(参考) 自己資本 2021年7月期第3四半期 7,864百万円 2020年7月期 8,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	—	0.00	—	4.50	4.50
2021年7月期	—	0.00	—		
2021年7月期(予想)				4.75	4.75

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年7月期の連結業績予想(2020年8月1日~2021年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	2.3	3,300	23.5	3,200	16.7	1,900	58.1	5.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年7月期3Q	348,398,600株	2020年7月期	348,398,600株
2021年7月期3Q	23,533,865株	2020年7月期	17,623,565株
2021年7月期3Q	328,960,569株	2020年7月期3Q	331,027,279株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料9ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	9
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	10
(1) 四半期連結貸借対照表	10
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	12
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	12
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	13
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(追加情報)	14
(セグメント情報等)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。感染拡大の防止策を講じつつ社会経済活動のレベルを引き上げていく中で、持ち直しの動きがみられました。一方で、減少に向かった新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向となるなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する業界において、不動産業界は、オフィスの集約や縮小の動きによる解約の影響が見られたため、空室率が上昇しました。また、レジャー・観光業界は、新規感染者数の増加及び緊急事態宣言の再発令による影響が続いております。

このような事業環境の中、当社グループは「ハッピートライアングル：関わる人全てがハッピーなビジネスを」という企業理念のもと、駐車場事業（国内・海外）、スキー場事業、テーマパーク事業の3つの主力事業において、環境変化や顧客需要変化を捉えた商品・サービスの提供等により、事業の改善に取り組みました。

当第3四半期連結累計期間においては、緊急事態宣言による一部時間貸駐車場への影響があったものの、月極駐車場の順調な新規受託により駐車場事業は前年を超過する売上となりました。テーマパーク事業においては、テーマパーク及び別荘宿泊の集客強化、2020年5月に那須高原りんどろ湖ファミリー牧場を運営する那須興業株式会社を取得したことにより来場者が7割増加した一方で、緊急事態宣言の長期化を受け、スキー場事業の来場者は大幅に減少しました。これらの結果、売上高は18,300百万円（前年同期比2.1%減）となりました。営業利益は、駐車場事業の評価制度見直しによる生産性向上、テーマパーク事業の収益部門への人材投下による営業効率の改善、スキー場事業のコスト削減により、2,693百万円（前年同期比8.2%減）、経常利益は2,808百万円（前年同期比4.1%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、スキー場事業の利益減少に伴う非支配株主に帰属する四半期純損失の増加により、1,812百万円（前年同期比16.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

各セグメントの業績数値にはセグメント間の内部取引高を含んでいます。

(駐車場事業)

国内駐車場事業においては、ホテルや商業施設に併設された時間貸駐車場利用が前年対比で減少しました。一方で、ターゲットとしていた物件の情報収集及び獲得、月極契約の促進、従業員の評価制度見直しによる生産性向上に注力しました。加えて、駐車場の有人運営をいかした+1（プラスワン）ソリューションの1号案件として、柏高島屋シェアオフィス「Kashiwa grand」の運営を開始いたしました。また感染症対策や働き方改革への意識が高まる中、直行直帰での営業スタイルに沿った駐車場付きマンスリーレンタカーの導入提案強化や、インターネットサイトを活用した駐車場紹介サービスにおけるSEO対策強化、新機能によるユーザー利便性改善等を進めて参りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における国内駐車場事業の新規契約物件数は101物件、解約物件数は54物件、前連結会計年度末から47物件の純増となり、国内の運営物件数は1,244物件、運営総台数は46,794台となりました。

海外駐車場事業においては、新型コロナウイルスの影響が一時回復傾向にあったものの、当社の事業展開地の内、タイ、韓国、インドネシアにおける感染者数が増加し、一部地域においてはセミロックダウンとなったことにより、オフィスや商業施設の月極及び時間貸駐車場利用が前年対比で減少しました。そのような中、稼働の悪化により駐車場の空きが予測されるホテル、収益低下を懸念するREIT物件へのサブリース提案や、車通勤需要の積極的な取り込み、非接触型営業の一環として駐車場紹介インターネットサイトを立ち上げ、掲載物件数を増やす等の営業強化に取り組みました。当第3四半期において、タイでは「ザ セントレジス バンコク」「メイフェア バンコク マリオット エグゼクティブ アpartment」駐車場など新規に5物件の運営を開始し、車通勤ユーザーとのマッチングをしております。

これらの結果、海外駐車場事業の運営物件数は、前年同期比3物件純増し71物件、運営総台数は19,207台となりました。

以上の結果、駐車場事業の売上高は、10,629百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は2,372百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

(スキー場事業)

スキー場事業におけるグリーンシーズンは、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う外出自粛や夏休み期間の短縮等により8月の来場者数は前年に比べ減少したものの、紅葉のピークとなる10月は天候に恵まれるとともにGo Toトラベルの効果もあり、10月単月の索道を稼働した施設における来場者数は過去最高となりました。

た。ウィンターシーズンは、12月にまとまった自然降雪による順調なコース拡大と、Go Toトラベルの効果等により、インバウンドが見込めない状況下でも前年同期比83.7%の来場がありました。しかしながら、2021年1月上旬から2021年3月下旬まで緊急事態宣言が継続し、宿泊を伴うスキー場エリアの来場者数の急減や団体旅行の大幅キャンセルにより、同ウィンターシーズンの来場者数合計は950千人（前年同期比35.1%減）となりました。

これらの結果、スキー場事業の売上高は、4,114百万円（前年同期比29.3%減）、営業利益は26百万円（前年同期比97.4%減）となりました。

（テーマパーク事業）

テーマパーク事業においては、新型コロナウイルスの影響により特に東京からの来場者数が減少しました。そのような中、2020年5月にグループ化した那須高原りんどう湖ファミリー牧場では、地域住民の集客に注力し、イルミネーション「フェスタ・ルーチェ（桜バージョン）」等のイベントを開催いたしました。また、那須ハイランドパークでは、東北エリアの修学旅行生の誘致や「歌う海賊団」ショーの開催等により集客に注力いたしました。

遊園地と隣接する「TOWAピュアコテージ」では、「非日常」を楽しめる総合リゾート施設を目指し、従来のコテージタイプやグランピングタイプに加えて、管理運営する別荘地内のリノベーション別荘をパッケージレンタルする「RESORT HOUSE」を運営し、大型ホテルとは異なる一軒家タイプの宿泊施設であることからコロナ禍での需要が高まり、来場者数合計は507千人（前年同期比73.7%増）となりました。

これらの結果、テーマパーク事業の売上高は、3,151百万円（前年同期比62.7%増）、営業利益は525百万円（前年同期は91百万円の営業損失）と大幅に改善いたしました。

そのほか、保護犬の里親探しを行う「SOS活動」では、取組開始以降の譲渡数が58頭、現状の里親募集が29頭となりました。

《駐車場事業の地域別、事業別売上高》

単位：百万円

		東日本	関東	東海	近畿	西日本	国内計
2020年 4月末	直営	508	3,008	476	1,776	664	6,434
	マネジメント	195	1,056	217	464	133	2,067
	その他	80	349	25	250	64	770
	合計	783	4,414	719	2,491	862	9,272
2021年 4月末	直営	539	2,978	448	1,853	645	6,466
	マネジメント	193	1,097	184	418	120	2,015
	その他	90	400	33	312	80	917
	合計	823	4,477	666	2,584	847	9,399
前年 同期比	直営	106.2%	99.0%	94.1%	104.4%	97.1%	100.5%
	マネジメント	98.8%	103.9%	84.9%	90.3%	90.5%	97.5%
	その他	113.0%	114.5%	130.3%	124.5%	126.2%	119.1%
	合計	105.1%	101.4%	92.6%	103.8%	98.2%	101.4%

		タイ	中国	韓国	インドネシア	台湾	海外計	総合計
2020年 4月末	直営	559	28	397	9	29	1,025	7,460
	マネジメント	60	110	11	16	—	199	2,266
	その他	69	0	—	1	0	72	842
	合計	689	140	409	28	30	1,297	10,569
2021年 4月末	直営	482	43	397	18	40	981	7,448
	マネジメント	75	96	5	—	—	177	2,193
	その他	64	0	0	0	4	70	987
	合計	622	139	404	19	44	1,229	10,629
前年 同期比	直営	86.2%	151.5%	100.0%	190.5%	134.4%	95.7%	99.8%
	マネジメント	125.7%	86.7%	51.8%	0.0%	—%	89.2%	96.8%
	その他	91.8%	12.8%	—%	46.0%	5,919.3%	97.0%	117.2%
	合計	90.2%	99.5%	98.9%	67.9%	148.1%	94.8%	100.6%

《駐車場事業の地域別物件数、台数及び契約率》

【月極専用直営物件】

		東日本	関東	東海	近畿	西日本	国内計
2020年 4月末	物件数(件)	65	513	69	227	108	982
	借上台数(台)	1,003	8,745	998	3,884	1,738	16,368
	貸付台数(台)	973	8,291	966	3,703	1,615	15,548
	契約率	97.0%	94.8%	96.8%	95.3%	92.9%	95.0%
2021年 4月末	物件数(件)	74	549	61	241	106	1,031
	借上台数(台)	1,118	9,329	861	4,214	1,808	17,330
	貸付台数(台)	1,015	8,910	823	3,884	1,598	16,230
	契約率	90.8%	95.5%	95.6%	92.2%	88.4%	93.7%
前年 同期比	物件数	113.8%	107.0%	88.4%	106.2%	98.1%	105.0%
	借上台数	111.5%	106.7%	86.3%	108.5%	104.0%	105.9%
	貸付台数	104.3%	107.5%	85.2%	104.9%	98.9%	104.4%

		タイ	中国	韓国	インドネシア	台湾	海外計	総合計
2020年 4月末	物件数(件)	19	—	2	1	—	22	1,004
	借上台数(台)	1,165	—	150	20	—	1,335	17,703
	貸付台数(台)	1,108	—	101	14	—	1,223	16,771
	契約率	95.1%	—%	67.3%	70.0%	—%	91.6%	94.7%
2021年 4月末	物件数(件)	21	—	2	1	2	26	1,057
	借上台数(台)	1,170	—	100	20	16	1,306	18,636
	貸付台数(台)	1,143	—	100	14	16	1,273	17,503
	契約率	97.7%	—%	100.0%	70.0%	100.0%	97.5%	93.9%
前年 同期比	物件数	110.5%	—%	100.0%	100.0%	—%	118.2%	105.3%
	借上台数	100.4%	—%	66.7%	100.0%	—%	97.8%	105.3%
	貸付台数	103.2%	—%	99.0%	100.0%	—%	104.1%	104.4%

【時間貸し併用直営物件】

		東日本	関東	東海	近畿	西日本	国内計
2020年 4月末	物件数(件)	20	29	14	38	16	117
	借上台数(台)	2,017	2,072	2,624	2,166	1,038	9,917
2021年 4月末	物件数(件)	22	31	14	33	13	113
	借上台数(台)	2,088	2,212	2,577	1,943	958	9,778
前年 同期比	物件数	110.0%	106.9%	100.0%	86.8%	81.3%	96.6%
	借上台数	103.5%	106.8%	98.2%	89.7%	92.3%	98.6%

		タイ	中国	韓国	インドネシア	台湾	海外計	総合計
2020年 4月末	物件数(件)	15	2	16	—	2	35	152
	借上台数(台)	7,796	242	3,365	—	135	11,538	21,455
2021年 4月末	物件数(件)	15	2	15	—	3	35	148
	借上台数(台)	8,085	242	3,511	—	223	12,061	21,839
前年 同期比	物件数	100.0%	100.0%	93.8%	—%	150.0%	100.0%	97.4%
	借上台数	103.7%	100.0%	104.3%	—%	165.2%	104.5%	101.8%

【時間貸しマネジメント物件】

		東日本	関東	東海	近畿	西日本	国内計
2020年 4月末	物件数(件)	15	42	12	23	12	104
	管理台数(台)	2,520	9,244	1,779	4,761	1,388	19,692
2021年 4月末	物件数(件)	14	45	12	18	11	100
	管理台数(台)	2,546	9,691	1,800	4,015	1,634	19,686
前年 同期比	物件数	93.3%	107.1%	100.0%	78.3%	91.7%	96.2%
	管理台数	101.0%	104.8%	101.2%	84.3%	117.7%	100.0%

		タイ	中国	韓国	インドネシア	台湾	海外計	総合計
2020年 4月末	物件数(件)	4	3	1	2	1	11	115
	管理台数(台)	3,346	2,320	98	1,385	75	7,224	26,916
2021年 4月末	物件数(件)	4	2	1	2	1	10	110
	管理台数(台)	3,182	1,100	98	1,385	75	5,840	25,526
前年 同期比	物件数	100.0%	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%	90.9%	95.7%
	管理台数	95.1%	47.4%	100.0%	100.0%	100.0%	80.8%	94.8%

【合計】

		東日本	関東	東海	近畿	西日本	国内計
2020年 4月末	物件数(件)	100	584	95	288	136	1,203
	総台数(台)	5,540	20,061	5,401	10,811	4,164	45,977
2021年 4月末	物件数(件)	110	625	87	292	130	1,244
	総台数(台)	5,752	21,232	5,238	10,172	4,400	46,794
前年 同期比	物件数	110.0%	107.0%	91.6%	101.4%	95.6%	103.4%
	総台数	103.8%	105.8%	97.0%	94.1%	105.7%	101.8%

		タイ	中国	韓国	インドネシア	台湾	海外計	総合計
2020年 4月末	物件数(件)	38	5	19	3	3	68	1,271
	総台数(台)	12,307	2,562	3,613	1,405	210	20,097	66,074
2021年 4月末	物件数(件)	40	4	18	3	6	71	1,315
	総台数(台)	12,437	1,342	3,709	1,405	314	19,207	66,001
前年 同期比	物件数	105.3%	80.0%	94.7%	100.0%	200.0%	104.4%	103.5%
	総台数	101.1%	52.4%	102.7%	100.0%	149.5%	95.6%	99.9%

※『借上台数』・・・当社グループと駐車場オーナーとの間で賃貸借契約を締結している台数

『貸付台数』・・・月極専用直営物件において、当社グループと駐車場ユーザーとの間で賃貸借契約を締結している台数

『契約率』・・・月極専用直営物件において『貸付台数』を『借上台数』で除した比率

『管理台数』・・・時間貸しマネジメント物件の総収容台数

『総台数』・・・『借上台数』+『管理台数』

《車両の設置台数、契約口数》

(単位：台)

	2020年 4月末	2021年 4月末	前年同期比
駐車場付マンスリーレンタカー設置台数	305	331	108.5%

《グリーンシーズン》

■索道を稼働した施設における来場者数

(単位：千人)

施設名	2020年 4月末累計	2021年 4月末累計	前年同期比
HAKUBA VALLEY国際山岳リゾート白馬八方尾根	65	54	82.4%
HAKUBA VALLEY白馬岩岳マウンテンリゾート	83	91	108.9%
HAKUBA VALLEY榎池高原	56	43	78.3%
竜王マウンテンパーク	63	48	75.2%
計	269	237	88.1%

■その他の施設における来場者数

(単位：千人)

会社名	2020年 4月末累計	2021年 4月末累計	前年同期比
(株)鹿島槍	6	2	43.3%
川場リゾート(株)	25	27	104.6%
めいほう高原開発(株)	15	21	139.5%
計	48	51	107.3%

- (注) 1. 索道を稼働した施設における来場者数については、主にリフト券の販売数に基づいて記載しております。索道とは、ゴンドラ、ロープウェイ及びリフトを指します。HAKUBA VALLEY榎池高原は、2018年8月にオープンしました「Xtrem Aventures HAKUBA TSUGAIKE WOW!」の来場者数を含めて記載しております。
2. その他の施設における来場者数において、(株)鹿島槍は、HAKUBA VALLEY鹿島槍スポーツヴィレッジの来場者及びグリーンシーズンでのスノーボードトレーニング施設の来場者の合計を記載しております。川場リゾート(株)は、サバイバルゲーム場、スケートボードパーク施設の来場者及びおにぎり店の来場者(レジ通過者数。2020年11月オープン原宿店及び高崎駅店含む)を含めて記載しております。めいほう高原開発(株)は、主におにぎり店の来場者(レジ通過者数)、キャンプ施設及び2020年7月にオープンしました「ASOBOT」の来場者の合計を記載しております。

《ウィンターシーズン》

■スキー場別来場者数

(単位：千人)

運営スキー場名	2020年 4月末累計	2021年 4月末累計	前年同期比
HAKUBA VALLEY白馬八方尾根スキー場	299	180	60.4%
HAKUBA VALLEY白馬岩岳スノーフィールド	52	66	125.6%
HAKUBA VALLEY梅池高原スキー場	242	140	58.0%
HAKUBA VALLEY鹿島槍スキー場	81	52	64.8%
竜王スキーパーク	203	104	51.3%
川場スキー場	183	143	78.4%
めいほうスキー場	169	162	96.0%
菅平高原スノーリゾート	231	99	42.9%
計	1,463	950	64.9%

■その他の施設における来場者数

(単位：千人)

会社名	2020年 4月末累計	2021年 4月末累計	前年同期比
川場リゾート㈱	10	21	202.7%
めいほう高原開発㈱	3	3	92.9%
計	13	24	176.9%

- (注) 1. スキー場の来場者数については、リフト券の販売数に基づいて記載しております。HAKUBA VALLEY白馬岩岳スノーフィールドは、2018年10月にオープンしました「HAKUBA MOUNTAIN HARBOR」の利用者数を含めて記載しております。HAKUBA VALLEY梅池高原スキー場は、2018年8月にオープンしました「XtremAventures HAKUBA TSUGAIKE WOW!」の利用者数を含めて記載しております。
2. 菅平高原スノーリゾートの来場者数については、「TARO AREA・DAVOS AREA」の来場者数を表示しております。
3. その他の施設における来場者数において、川場リゾート㈱及びめいほう高原開発㈱は、主におにぎり店の来場者（レジ通過者数）の合計を記載しております。

《テーマパーク事業の来場者数》

(単位：千人)

施設名	2020年 4月末累計	2021年 4月末累計	前年同期比
那須ハイランドパーク	278	317	114.0%
NOZARU	13	15	112.0%
那須高原りんどう湖ファミリー牧場	—	174	—%
計	291	507	173.7%

- (注) 那須高原りんどう湖ファミリー牧場を運営する那須興業㈱を2020年5月1日に子会社化した為、2020年4月末累計の来場者数は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べて2,859百万円減少し、27,744百万円となりました。主な要因は、積極的な設備投資により有形固定資産913百万円、スキー場のシーズン運営等に伴い売掛金が229百万円増加したものの、1,488百万円の配当の実施、法人税等の支払、銀行借入の返済、自己株式の取得等により、現金及び預金が3,713百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べて2,080百万円減少し、17,471百万円となりました。主な要因は、銀行借入れの返済により借入金1,427百万円、テーマパークのシーズン終了等に伴い買掛金が173百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて779百万円減少し、10,273百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,812百万円計上したものの、1,488百万円の配当の実施、自己株式の取得等により自己株式が926百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年9月4日に公表いたしました2021年7月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,484,138	12,771,087
売掛金	578,004	807,054
たな卸資産	332,312	399,807
その他	1,189,283	1,013,515
貸倒引当金	△4,798	△4,339
流動資産合計	18,578,940	14,987,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,442,930	3,950,063
土地	3,169,772	3,272,493
その他（純額）	2,700,698	3,003,886
有形固定資産合計	9,313,402	10,226,443
無形固定資産		
のれん	57,753	46,900
その他	199,765	178,839
無形固定資産合計	257,518	225,739
投資その他の資産		
投資有価証券	895,020	870,101
その他	1,667,194	1,542,223
貸倒引当金	△107,868	△107,318
投資その他の資産合計	2,454,346	2,305,006
固定資産合計	12,025,267	12,757,189
資産合計	30,604,207	27,744,314
負債の部		
流動負債		
買掛金	439,804	265,820
短期借入金	1,378,000	398,000
1年内返済予定の長期借入金	608,656	2,045,323
未払法人税等	411,414	413,559
企業結合に係る特定勘定	113,908	13,848
その他	2,814,297	2,436,818
流動負債合計	5,766,081	5,573,370
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	10,107,550	8,222,943
退職給付に係る負債	12,248	19,362
役員退職慰労引当金	2,230	—
企業結合に係る特定勘定	1,765,154	1,722,716
その他	1,397,874	1,432,668
固定負債合計	13,785,057	11,897,690
負債合計	19,551,138	17,471,060

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	699,221	699,221
資本剰余金	617,433	552,842
利益剰余金	9,370,124	9,706,844
自己株式	△2,077,215	△3,003,774
株主資本合計	8,609,563	7,955,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△70,258	△19,780
為替換算調整勘定	△141,540	△70,636
その他の包括利益累計額合計	△211,798	△90,417
新株予約権	528,769	519,186
非支配株主持分	2,126,533	1,889,350
純資産合計	11,053,069	10,273,253
負債純資産合計	30,604,207	27,744,314

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)
売上高	18,693,682	18,300,694
売上原価	11,601,249	11,756,932
売上総利益	7,092,432	6,543,761
販売費及び一般管理費	4,158,483	3,850,053
営業利益	2,933,948	2,693,708
営業外収益		
受取利息	10,699	6,072
受取配当金	19,768	16,599
投資有価証券売却益	—	7,901
投資事業組合運用益	29,541	411
助成金収入	—	138,454
為替差益	—	19,059
貸倒引当金戻入額	700	973
その他	44,117	27,702
営業外収益合計	104,827	217,174
営業外費用		
支払利息	37,461	51,713
為替差損	25,108	—
その他	47,499	50,846
営業外費用合計	110,069	102,559
経常利益	2,928,706	2,808,322
特別利益		
固定資産売却益	265,306	1,288
新株予約権戻入益	—	14,557
特別利益合計	265,306	15,845
特別損失		
固定資産売却損	22	—
固定資産除却損	59,871	25,136
減損損失	133,330	40,164
解約違約金	15,254	2,467
災害による損失	965	200
新型コロナウイルス感染症による損失	20,943	—
特別損失合計	230,388	67,968
税金等調整前四半期純利益	2,963,624	2,756,199
法人税、住民税及び事業税	986,553	850,353
法人税等調整額	64,019	110,892
法人税等合計	1,050,573	961,246
四半期純利益	1,913,050	1,794,953
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	352,319	△17,550
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,560,730	1,812,504

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益	1,913,050	1,794,953
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,657	50,477
為替換算調整勘定	△77,551	74,973
その他の包括利益合計	△114,208	125,450
四半期包括利益	1,798,841	1,920,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,448,031	1,933,885
非支配株主に係る四半期包括利益	350,810	△13,481

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社グループの一部子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について)

新型コロナウイルス感染症拡大により、依然として経済活動が本格的な回復には至っていない状況を鑑み、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、当第3四半期連結会計期間においても修正を行わず継続して適用いたします。

新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を見通すことは困難であります。新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響は、事業によって程度が異なるものの、前期末から1～2年程度継続すると仮定し、会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期及び経営環境への影響が変化した場合には、上記の見積りの結果に影響し、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	駐車場事業	スキー場事業	テーマパーク事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	10,556,206	5,816,798	1,926,722	18,299,728
セグメント間の 内部売上高又は振替高	12,922	—	10,392	23,315
計	10,569,129	5,816,798	1,937,115	18,323,043
セグメント利益 又は損失(△)	2,315,717	1,012,030	△91,649	3,236,097

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	393,953	18,693,682	—	18,693,682
セグメント間の 内部売上高又は振替高	6,776	30,091	△30,091	—
計	400,730	18,723,773	△30,091	18,693,682
セグメント利益 又は損失(△)	32,622	3,268,720	△334,771	2,933,948

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育事業、ヘルスケア事業及び不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△334,771千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、全社費用は、主に財務経理等の管理部門に係る費用及び各報告セグメント共通の費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントにおいて、133,330千円の固定資産の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	駐車場事業	スキー場事業	テーマパーク事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	10,611,641	4,113,996	3,147,291	17,872,928
セグメント間の 内部売上高又は振替高	17,494	158	4,072	21,725
計	10,629,135	4,114,155	3,151,363	17,894,653
セグメント利益 又は損失(△)	2,372,658	26,078	525,746	2,924,483

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	427,765	18,300,694	—	18,300,694
セグメント間の 内部売上高又は振替高	19,339	41,065	△41,065	—
計	447,105	18,341,759	△41,065	18,300,694
セグメント利益 又は損失(△)	61,157	2,985,641	△291,932	2,693,708

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育事業、ヘルスケア事業及び不動産事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△291,932千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に財務経理等の管理部門に係る費用及び各報告セグメント共通の費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。